

結果の概要

1 結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの10年間の結婚の状況をみると、男36.5%、女53.1%が結婚している。

第1回調査（平成24年）時に独身であった者のうち、「第1回から第11回間に結婚」した者の割合は、男36.5%、女53.1%であり、第11回調査時に「結婚していない」（独身者）者の割合は、男63.5%、女46.9%となっている（表1）。

また、第1回の結婚意欲別にこの10年間の結婚の状況をみると、男女とも「結婚意欲あり」と答えた者の方が、「どちらとも言えない」「結婚意欲なし」と答えた者より、この10年間で結婚した割合が高くなっている（図1）。

表1 第1回からの性、年齢階級別にみたこの10年間の結婚の状況

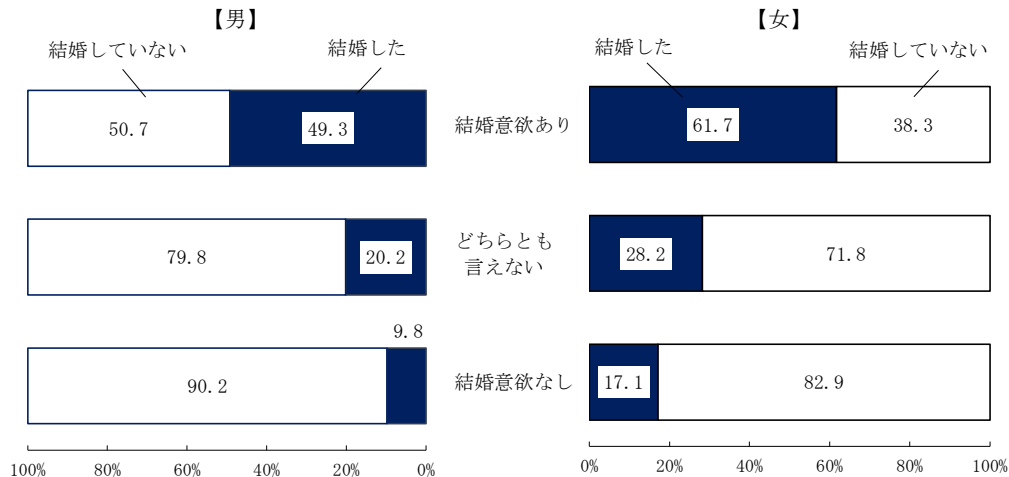
(単位：%)

性 第1回の年齢階級 (第11回の年齢階級)	総数	第1回調査時に 既婚	第1回調査時に 独身		
			第1回から 第11回間に 結	婚して いない	結婚して いない
男	100.0	11.7	88.3	32.2	56.1
20～24歳 (30～34歳)	100.0	2.8	97.2	32.2	65.0
25～29歳 (35～39歳)	100.0	17.9	82.1	32.3	49.9
女	100.0	13.9	86.1	45.7	40.4
20～24歳 (30～34歳)	100.0	3.6	96.4	50.0	46.4
25～29歳 (35～39歳)	100.0	22.0	78.0	42.3	35.7

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「第1回から第11回間に結婚」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、第1回の結婚意欲別にみたこの10年間の結婚の状況



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)第1回の結婚意欲の「結婚意欲あり」は「絶対したい」「なるべくしたい」と回答した者を、「結婚意欲なし」は「あまりしたくない」「絶対したくない」と回答した者を集計している。

3)「結婚した」には、この10年間に、結婚した後離婚した者を含む。

2 出生の状況

(1) 希望子ども数と子どもをもつ意欲

独身時の希望子ども数は、男女ともに「2人」だった割合が高い。また、男72.7%、女76.7%に子どもがいる。

第1回調査時に独身で、第11回調査時に既婚だった者の第1回の希望子ども数をみると、男女とも「2人」が多く、男65.1%、女63.3%となっている。

第11回調査時に「子どもあり」の割合は男72.7%、女76.7%となっており、希望子ども数が多いほど高い傾向となっている。(表2)

また、第1回からの夫婦について、第1回調査時の子どもをもつ意欲別にこの10年間の出生の状況をみると、夫婦とも子どもを「もちたい」と答えた者の方が、「もてなくてもかまわない」「今後子どもは欲しくない」と答えた者より、この10年間に出生した割合が高くなっている(図2)。

表2 第1回調査時に独身であった者の性、希望子ども数別にみた出生の状況

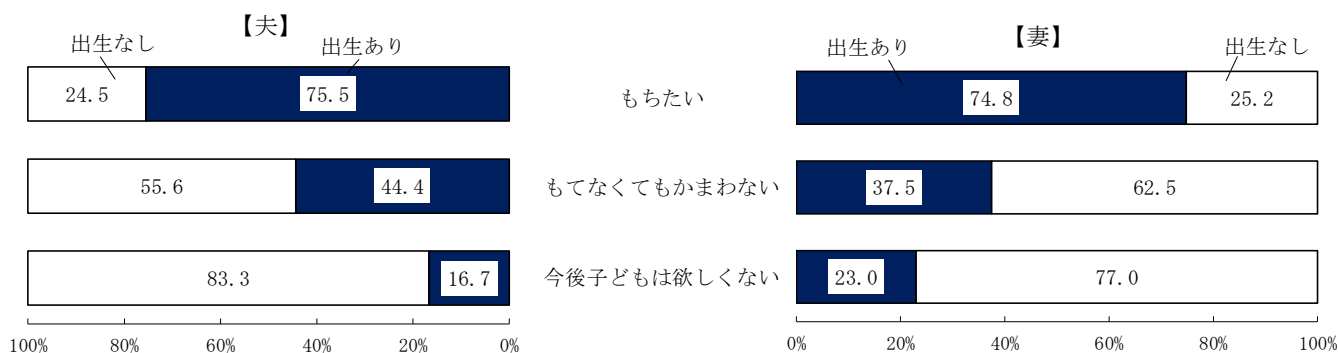
(単位：%)

		子ども数(第11回)							
		総数		子どもあり	子どもあり			子どもなし	
					1人	2人	3人以上		
希望子ども数(第1回)	男	総数	(100.0)	100.0	72.7	30.4	34.6	7.7	27.3
	0人	(3.7)	100.0	59.1	45.5	13.6	-	40.9	
	1人	(7.4)	100.0	68.2	34.1	27.3	6.8	31.8	
	2人	(65.1)	100.0	71.7	29.3	35.2	7.2	28.3	
	3人以上	(20.7)	100.0	79.0	29.8	38.7	10.5	21.0	
	女	総数	(100.0)	100.0	76.7	31.7	36.2	8.9	23.3
	0人	(3.9)	100.0	44.9	32.7	12.2	-	55.1	
	1人	(5.3)	100.0	66.7	30.3	33.3	3.0	33.3	
	2人	(63.3)	100.0	77.5	32.2	38.3	7.0	22.5	
	3人以上	(26.3)	100.0	82.3	30.9	35.2	16.2	17.7	

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「総数」には、第1回の「希望子ども数」の不詳を含む。

図2 第1回からの夫婦の子どもをもつ意欲別にみたこの10年間の出生の状況



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)第1回の子どもをもつ意欲の「もちたい」は「絶対にもちたい」「できればもちたい」と回答した者を、「今後子どもは欲しくない」は、「今後、何人の子どもをもちたいと考えていますか。」という質問に「0人」と回答した者を集計している。

(2) 夫の休日の家事・育児時間

子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。

夫婦について、夫の休日の家事・育児時間別に、この10年間の出生の状況をみると、子どもが1人以上いる夫婦では「家事・育児時間なし」で40.0%、家事・育児時間ありでは7割以上で第2子以降が生まれており、平成14年成年者と同様に、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれる割合が高くなる傾向がある（表3、図3）。

表3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の出生の状況

		総数				子どもなしの夫婦			子ども1人以上の夫婦		
		出生あり	出生なし	第1子 出生あり	出生なし	第2子 以降 出生あり	出生なし				
								出生あり	出生なし		
夫の 育児 時間 の 家事 ・	総数	(100.0)	100.0	72.5	27.5	100.0	57.0	43.0	100.0	86.2	13.8
	家事・育児時間なし	(3.6)	100.0	59.6	40.4	100.0	63.8	36.2	100.0	40.0	60.0
	2時間未満	(31.8)	100.0	61.4	38.6	100.0	57.8	42.2	100.0	78.0	22.0
	2～4時間未満	(22.9)	100.0	69.5	30.5	100.0	54.8	45.2	100.0	84.5	15.5
	4～6時間未満	(12.5)	100.0	83.0	17.0	100.0	48.6	51.4	100.0	90.3	9.7
	6時間以上	(24.1)	100.0	87.3	12.7	100.0	46.2	53.8	100.0	88.7	11.3

注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

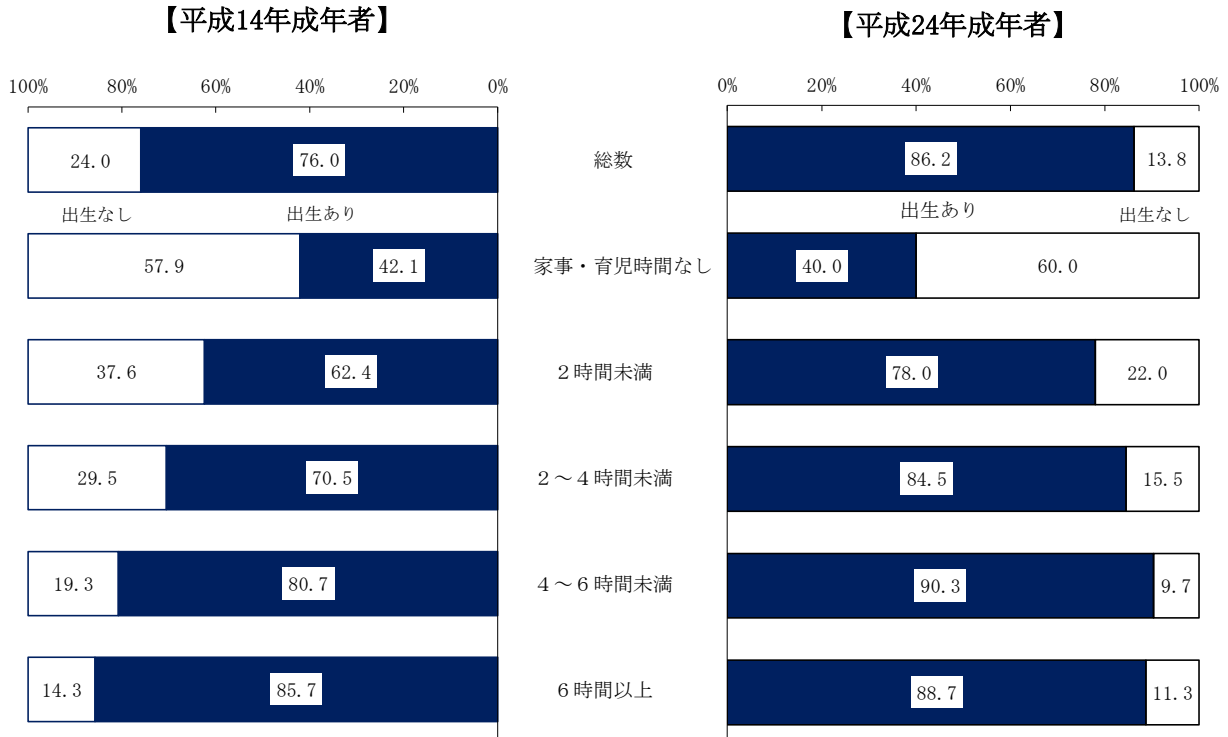
2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

3)「子どもなしの夫婦」「子ども1人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

図3 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

3)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

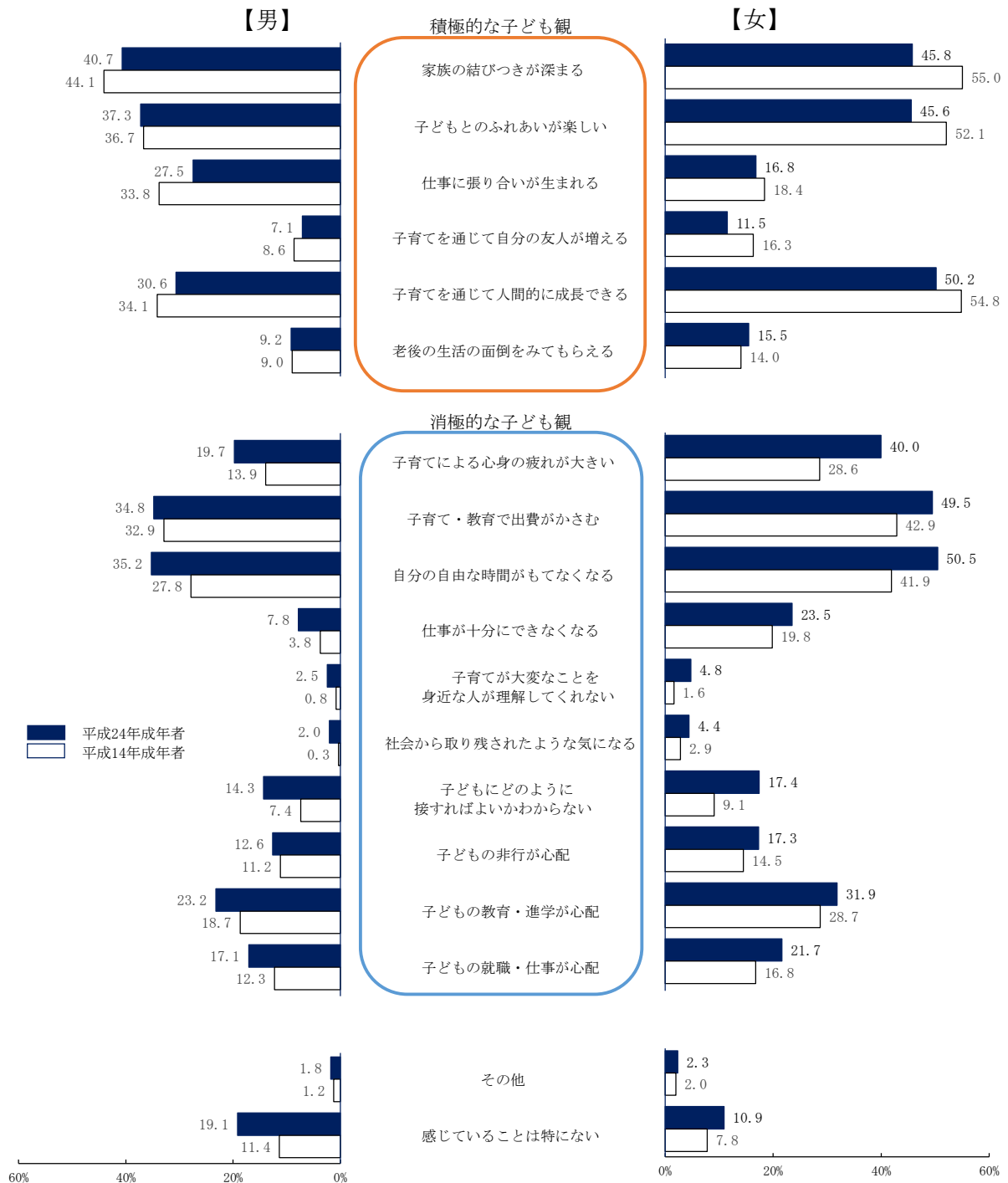
4)家事・育児時間の「総数」には、「家事・育児時間」の不詳を含む。

(3) 子ども観

独身者について子ども観の割合をみると、積極的な子ども観は平成14年成年者の方が高い傾向となり、消極的な子ども観は平成24年成年者の方が高い傾向となっている。

独身者について子ども観の割合をみると、「家族の結びつきが深まる」などの積極的な子ども観は、平成14年成年者の方が高くなる傾向にあり、「子育てによる心身の疲れが大きい」などの消極的な子ども観は、平成24年成年者の方が高くなる傾向となっている。(図4)

図4 独身者の性別にみた子ども観(複数回答)
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。

2)「独身者」と「子ども観」は、平成24年成年者は第11回調査時の、平成14年成年者は第12回調査時の状況である。

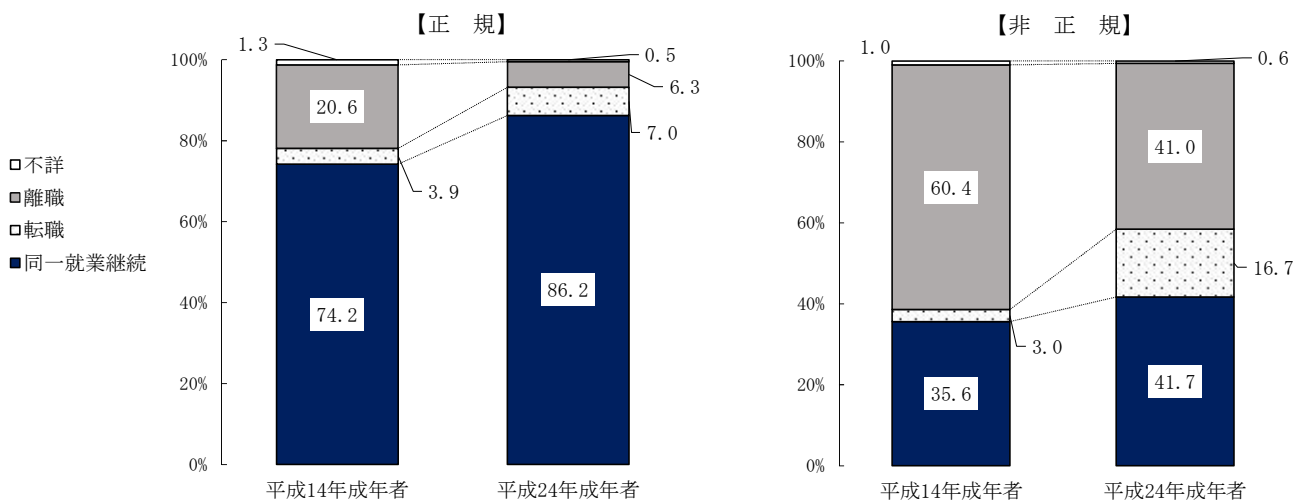
3 出産前後の就業状況の変化

妻の出産後の就業状況をみると、正規・非正規ともに「離職」の割合が、平成14年成年者と比べ低くなっている。

この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）について、出産後の就業状況をみると、正規・非正規ともに「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図5）。

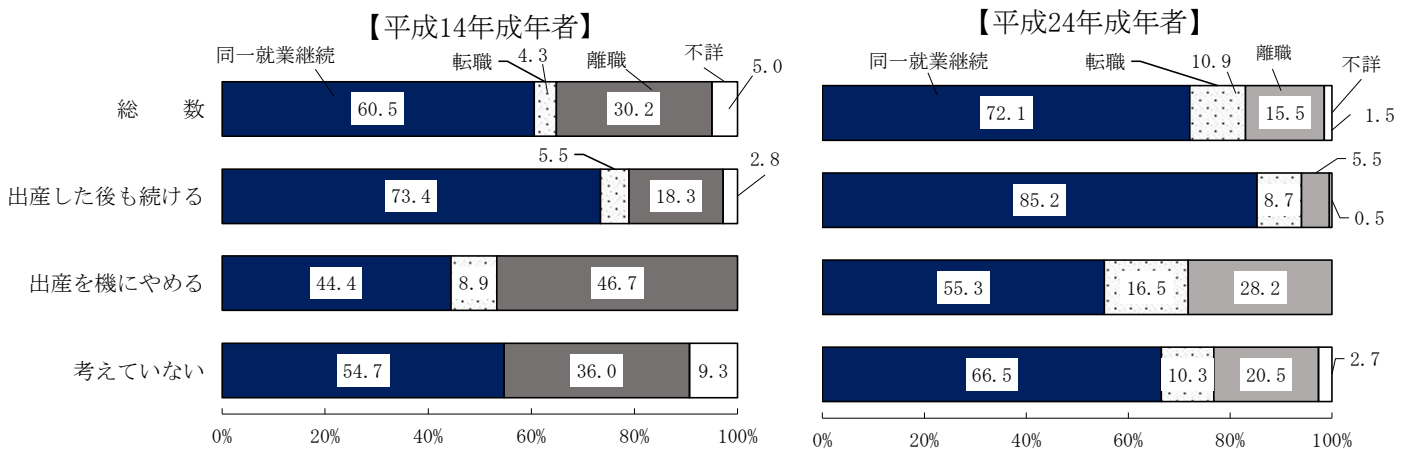
また、第1回のお産後の就業継続意欲別に「出産後の就業状況」の変化をみると、いずれの就業継続意欲においても「離職」の割合は、平成14年成年者と比べ低くなっている（図6）。

図5 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
正規・非正規別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図6 この10年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）の
第1回のお産後の就業継続意欲別にみた出産後の就業状況
【平成14年成年者・平成24年成年者】



注：1)集計対象は、8頁「参考」を参照。
2)平成24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
3)総数には、「出産後の就業継続意欲」の不詳を含む。
4)10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。